



福井高専

青武台だより



No.202

平成26年7月31日発行

目 次

	ページ
1. 新年度を迎えて	
新設主事から	2
教育後援会会長から	3
図書館改修	4
各学年の担任から	5~6
新入学生の言葉	7
新入生オリエンテーション合宿研修	8
2. 第50回体育祭	9~12
3. キャンパスウォーク	13
4. 第49回寮祭	14
5. 活躍する仲間	
舞鶴高専交歓試合結果	15
福井県高校総体春季体育大会結果	15~16
北信越高等学校体育大会結果	16
北陸地区高等専門学校体育大会結果	17
第3回小水力発電アイディアコンテスト	18
ロボットコンテスト出場チーム紹介	18
全国高専デザインコンペティション紹介	19
囲碁・将棋大会結果	19
6. 学園通信	
平成26年度 部・同好会指導教員・代表者一覧	20
学生会活動について	21
アドバンストコース「産業事情海外視察」報告	21
明石高専教員を経験して	22
本校に着任して	22~25
7. 中学生の皆さんへ	
公開講座実施一覧	26
中学生だより	27

福井工業高等専門学校

FUKUI NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

<http://www.fukui-nct.ac.jp>

新設主事から



Think locally, act regionally.

地域連携主事 吉田 雅穂

経済産業大臣が指定する伝統的工芸品うち、丹南地域では越前焼、越前漆器、越前打刃物、越前和紙が指定されており、昨年これに越前筆箋が加わりました。福井県の伝統的工芸品7つのうち実に5つが本校の近くを産地としています。また、鯖江市を中心とした眼鏡産業、本県の基幹産業である繊維産業、そして、自動車産業集積地の中京地区に近いことで自動車部品産業などの地場産業の企業が多数立地していることもこの地域の特長です。一方、福井県は住みやすさランキングで高い評価を受けていますが、昭和23年福井地震、昭和56年豪雪、平成16年福井豪雨など幾多の自然災害に見舞われており、昨年には原子力施設から半径30km以内に設定された緊急時防護措置準備区域（UPZ）に丹南地域の大部分が含まれることになりました。また、越前国の国府が置かれた越前市には歴史的価値の高い文化財が多数残されています。この様な地域特性を持つ丹南地域において、本校は唯一の工業系高等教育機関であり、ものづくりや環境づくりのための技術支援に対して地域からの期待は非常に大きいと言えます。

さて、本校の地域連携テクノセンターは、高専の使命である「人材育成、学術研究、社会貢献」において地域と連携する窓口として設置されています。本校の教職員や学生の人的・知的資源、高度な分析装置や試験機などの物的資源を活用して、福井県の産業界や地方公共団体との連携事業や共同研究、共同教育を促進し、さらに、地域を知る人材を、地域

で育て、地域で活躍させる技術者育成をサポートしています。それらの成果は、北陸技術交流テクノフェアやさばえものづくり博覧会など地域で開催されるイベントで披露しています。

センター棟は図書館の東側に立地し、3階建部分と2階建部分の2つで構成されています。このうち2階建部分が本年3月に図書館と共にリニューアルしました。1階には高度な分析計測装置を設置した実験室と3Dプリンター等を設置したデジタル造形室があり、卒業研究やクラブ活動の指導教員の許可を得れば学生も利用できます。2階には広い実験実習のための部屋、ものづくりラボラトリがあります。放課後は科学技術系クラブの活動場所として開放していますので是非利用してください。3階建部分の3階にはアントレプレナーサポートセンターがあります。ここでは、起業を目指す人に有料ですがオフィスを提供しており、定員6名のところ本校学生を含む4名の方が入居しています。

学生の本分は日々、勉強と課外活動に取り組むことは言うまでもありませんが、少し地域に目を向けて鯖江市や越前市のある丹南地域のためになることは何だろう、福井県に役立つためには何をすれば良いのだろうかなど、何かの行動の際に地域を意識してみると今までにない新しい取り組みができるかもしれません。それによって地域が良くなれば、そこに住む私たちもハッピーになれるはずです。福井を愛し、福井をよく知る君たちの行動力に期待します。

教育後援会会長から

教育後援会会長就任に寄せて ～恩返しが出来る幸せ～

教育後援会会長 岩坂昭宏

今年度、教育後援会の会長を拝命致しました岩坂と申します。微力ではございますが、我が子達のより良い環境に寄与するため、精一杯努めさせて頂きますので、保護者の皆様、そして教職員の皆様、どうかご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、親として、子どもがお世話になっている学校のために働くのは当然ですが、私の場合、二重にご恩がございます。それは、私も土木工学科（現環境都市工学科）14期生としてお世話になったご恩です。親子二代でお世話になっている以上、頑張らないわけにはいきませんが、むしろ光栄なことであり、ご恩返しが出来るチャンスと、ありがたく受け止めています。

我々役員の会務としては、学内の状況や行事、部活動等の成果、また予算執行についての報告を受け、確認しご意見申し上げるというのが主な仕事であり、その会議の席上に於いては親の立場としてお話を聞くわけですが、同時に卒業生としての自分もいて、現在の状況と30年前を比較することも密かな楽しみとなっています。

福井高専は来年50周年を迎えるわけですが、私が知る30年だけでも大きく変化したと思います。専攻科が設けられたり教育システムや環境も大きく改善されるなど、隔世の感があります。学生さんの質も変わって、私が学生だった頃は、実に男臭い学校であり、おしゃれや清潔という言葉が縁遠い輩も多数見受けられましたが（笑）、今では女子の比率も高まり、学生さん達もおしゃれで明るく実際に華やかな印象。廊下ですれ違う学生さんは礼儀正しく、勉強熱心であると聞いており、学校として洗練された印象を受けています。

当時お世話になった先生方は重要な役職を務められ、高専出身の先生も増えていると聞いていますので、これも優れた人材を輩出している証と言えましょう。他にも、私がお手伝いしている「いまだて芸術館」のイベントにおいては、サイエンスクラブを始めとして先生方と学生さん達にお世話になっており、子ども達に科学に対する興味を促す貴重な場を提供頂いております。このような地域貢献が根付いていることも、高専が成熟し地域に認められている存在だからこそです。

このように、変化は外見やシステムの全てにおいて顕著ですが、それでも決して変わらぬ「高専スピリッツ」も感じ、それこそ高専という教育機関の根幹だと再認識しています。私が思う高専スピリッツとは、自由な校風の中で己の道を見出し、社会において即戦力の人材となるべく研鑽する、ということです。

この50年で培われてきたことは教職員の皆様や卒業生の皆様の努力の結晶であり、その土台の上に我が子達がお世話になっていることは、まさに「感謝」の一語。学生の皆さんには、この財産を大いに生かし、「高専スピリッツ」のもと、世界に羽ばたいて頂きたいと願います。そして、皆さんの活躍はそのまま後輩達に還元され、高専の新たな未来に繋がり、歴史となるのですから。

…自分が学生だった頃、こんなことは考えたこともありませんでしたが、当時も親がこんな形で支援してくれたのだということを知り、親のありがたさを再認識させて頂いています。

お役目を頂き感謝を知る…ご恩返しが出来る幸せを噛みしめながら、精進して参ります。

図書館改修

新しくなった図書館へようこそ!

図書館長 吉田三郎

昨夏からの図書館改修工事も本年3月末には無事竣工し、新年度より開校50周年に向けて、今までより明るく、一層利用しやすい環境が実現いたしました。現在は本科、専攻科に在学する学生はもとより、教職員や近隣にお住いの方々の利用が一層活発になるように一層内容の拡充、整備を進めているところです。

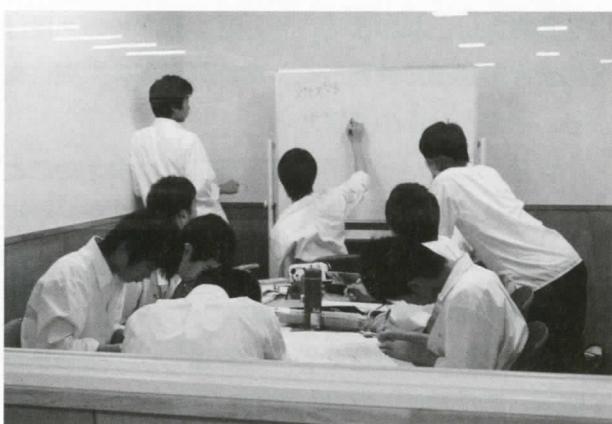
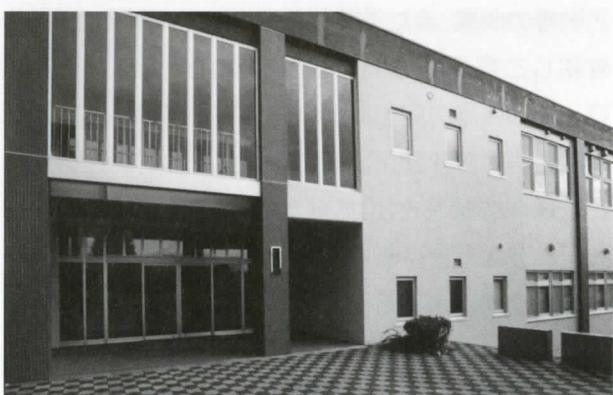
今回の改修の大きな特徴は、閲覧室が2階から1階に変更になったところにあります。正面玄関を入り、右側に降りていくと自動ドアの向こうの右手にカウンター、そして奥には書架や閲覧机が広がります。また、左手にはPCコーナー、Blu-rayやDVDソフトを備えるメディアコーナー、さらにこのたび新設されたアクティビティルームも2部屋あります。ここは学生たちが数人集まって、話し合いや教え合いが可能な空間です。6月の中間試験の前にはホワイトボードに数式を書いてはあれこれと議論し合う姿も見られ、利用時間の制限まで必要になるほどでした。

一方で図書館の2階は「コミュニティプラザ」として生まれ変わりました。ここは静肅であるべき1階の閲覧室とは少し趣向を変えて、学生たちが放課後や昼休みに集まって語り合える空間にもしたいと、現在新しい什器類を導入しました。その奥にはパーティションで仕切られて多用途に使用可能なコ

ミュニティルームが3部屋配置されています。

図書館と学生との距離を近づけるイベントとしては近年年2回のブックハンティングを実施し、図書委員たちがクラスからの要望や、自ら読みたい書籍を購入する機会も設けています。そういう学生のママの情報をもとに、各学科の専門書や資格試験の勉強にも使える本、読みやすい洋書をそろえたコーナーの中には、やわらかめの「ラノベ」の類いまで学生の興味や関心に直結した本も書棚に並んでもいます。それらも是非見て確かめて欲しいと思います。

現在図書館は館内約11万冊の蔵書だけでなく、県内や国内、さらにその先まで情報検索や収集が可能な施設として、より使いやすい場所とするべく発展中であります。皆さまのご意見、ご要望等も取り入れて、より親しみやすい施設となりますよう努力してゆきますので、どうぞお気軽にカウンターにお越しください。



各学年の担任から

各学年の担任から

○ 夏休みを前にして ○

F5担任 廣重 準四郎

本稿が活字になる頃はちょうど前期期末試験の真っ最中のはずだが、1年生諸君は中間試験の反省をふまえて健闘していることと信じたい。中間試験では生まれて初めての愕然とする点数が付いた答案を手にした者も少なからずいるだろう。そのような人は、ひょっとして自分は来年もこの教室にいるのでは、と一抹の不安を覚えたのではなかろうか。それは高専生となるための一種の「洗礼」のようなものだが、それをどのように受け止めるかによって今後の高専生活は大きく違ってくる。願わくは、愕然と不安を経験した者はもとよりすべての1年生諸君が、今般の試験では、捲土重来を期すべく、あるいはさらなる向上を目指すべく懸命に励まんことを。

そのような努力の後に待ちに待った夏休みがやって来る。4ヶ月以上にわたる学校での勉学がようやく一段落を迎える。スポーツに汗を流すのもよし、趣味に没頭するのもよし、自然と親しむのもよし、とにかく有意義な40日間にして欲しい。身近な人たちからも必ず言われることだろうが、怪我や事故には十分注意し、くれぐれも羽目を外してしまわないように。

夏休みを通じて大きく成長した諸君が、努力の証としての前期成績表を晴れがましい気持ちで受け取ってくれることを心の底から期待している。

○ 夏休みに向けて ○

2E1担任 大久保 弦

「人生とは今日一日のことである」という言葉があります。

「人生」とか、「生き方」と言えば、誰もがまず、自分の人生とか、自分らしい生き方とか口にしますが、考えてみて下さい。過去はもう取り返せない、明日という未来のことは、今の自分には分からなし、どうすることもできません。自分が今生きていって、自分の意志でどうにも出来て、その意味で自分の人生と言えるのは「今日」というこの日しかないのでしょう。

自分らしく生きるとは、「今日」というこの日をしっかりと自分のものにすること、そしてそれを毎日続けることです。おそらく、何かを成し遂げる人、何かを達成できる人とは、そうやって「今日」というこの日をしっかりと自分のものにしてきた人なのでしょう。

さて、定期試験も終わり、もうまもなく夏休みでしょう。そこであえて皆さんに問い合わせみたいのです。

「今日」は、どんな「人生」でしたか。「今日」なにをしましたか。空疎に、無駄に過ごして終わってしまいませんでしたか。一日の終わりに、はて、今日は何をしたんだっけ、と何をしたのかも思い出せないような24時間ではなかったですか。

休み中も、この問い合わせいつも自分自身に発してください。「今日」という日は、毎日毎日いやでもやってきます。しかし、「人生」は、結局自分で作っていく以外ありません。

○ 最高の休みにしよう!! ○

3B担任 香月 壮亮

期末テストお疲れさまでした。3年の皆さんは前期の期末試験も終わり、いよいよ夏休み!!夏休みを前にして今何を考えているでしょうか。“後期はもっと勉強がんばらないといけない…”や“旅行に行きたい”、“花火大会をみにいかなきゃ”など様々でしょうか。3年の夏休みは、“勉強する”にしろ“思いつ

各学年の担任から

きり何かをする”にしろ“長期間かけて何かができる”最後の年になるといつても過言ではありません。4年ではインターンシップが始まるためその準備と報告に追われます。5年では卒業研究や就職活動や進学の準備で忙しくなります。そもそも卒業し就職したら、長期的な夏休みはありません…。皆さんも普段の生活で気付いているように、何かを成し遂げようと思うと、時間がかかります。授業が終わってから、課題、レポート、課外活動と、毎日忙しいと思います。学校生活している中で何かを成し遂げたい場合、細切れにされた時間しか転がっていません。将来就職するにしろ、進学するにしろ、3年生の君たちにとってこの夏休みをどう使うかが重要だと思いませんか。残されたまとまった時間は、皆さんが思っているほど多くはありません。どうかこの夏休みを自分なりに考えて、考えて、考えて、後悔しない有意義な時間にしてください。きっとこれから君たちの糧になってくれることでしょう。

今という時期

4C担任 佐々和洋

高専4年生は忙しい！！

春休み前から準備をしてきた体育祭では学科を中心として下級生をまとめあげ、その数週間後には3年生のときより難易度が上がった中間テストで日々の学習の成果を求められ、一息つく間もなくインターンシップの準備に取り掛からなければならぬ。さらに、部活動などに従事している学生にいたっては、間近に迫った高専大会や発表会などに向けて、日々の練習にも一層の熱を入れて励まなければならぬ時期である。

この様な多種多様かつ多忙な経験は、どれほど学生たちの能力や資質を成長させるのであろう。そして、それ一つ一つの局面を打開し完遂したときの充実感は、どれほど学生たちの個性や精神力を育

むのだろう。当の本人たちは日々差し迫る時間の流れの中で気づく余裕もないだろうが、彼らが成長という階段を一步一步上っているのは間違いない。当然、ひたすら階段を上るのだから心身共への負担は大きく辛いものである。時には休息も必要だろう、ただし、逃げないで欲しい。今、直面しているものから逃げてしまっては、大きく成長する機会を逸するだけである。もう一度、心のたがをしっかりと締め直して今という時期を大切にして欲しい。

のんびりとダラダラ

5M担任 村中貴幸

5年生のみなさん、高専生活最後の夏休みが目前ですね。すでに多数の人が就職の内定や大学・専攻科の合格を勝ち得ていることと思います。最後の夏休み、のんびりするぞー！と、意気込んでいるのではないか？私はのんびりとダラダラは違うと思います。どちらもゆったりと時間を使うことに変わりはありませんが、「のんびり」にはその人の意思、主観が入るし、「ダラダラ」にはそれが無いと思います。第5学年が他の学年と決定的に違うのは何か？それは20歳になる学年だということ。日本では20歳を過ぎると大人と言われます。20歳になつたら自分の責任は自分で取るべきと言われます。責任を取るとはどうすることでしょうか？それは、「今の自分」を人のせいにしないことだと思います。これから的人生は自分次第と覚悟を決めることがあります。進路を決めて、この覚悟ができない学生が散見されるのはなぜ？でしょうか。来年の3月、卒業と同時にガラッと大人に変わることはできません。低学年では規則正しい生活を続けよう、4年生ではインターンシップに参加し、進路を考えようと言われます。では5年生は…覚悟をもって、大人として振る舞うならば、のんびりする夏休みも良いと思います。決してダラダラしないように！

新入学生の言葉

新入学生の言葉

○ 高専生活の楽しさ・面白さ ○

F2 田 中 真紀子

私が福井高専に入学して約2ヵ月が経ちました。「福井高専に入学して良かった」と思うことがこの2ヵ月でたくさんありました。

私の出身中学から福井高専に入学した人はほんの数人で、クラスに同じ中学校出身の人はいません。だから入学式の日は緊張したし不安でしたけれど、明るくて優しい人たちばかりで仲良くしてくれる人がいて、とても楽しいクラスです。新入生オリエンテーション合宿では、クラスの皆の意外な一面を知ることでできたとても良い機会だったと思います。

学科ごとの新入生歓迎会、体育祭では、すごく面白い先輩たちがたくさんいて、福井高専はとても楽しい学校だと思いました。部活の先輩たちも優しくて、面白い人たちばかりです。

ものづくり科学の授業では、他の高校とは違って専門的なことを学ぶので、理解するのが難しいこともあるけれど、自分が学んでみたかったことを食べてとても嬉しいです。

今、楽しい学校生活を送っているのは、友達や先輩、先生方のおかげです。福井高専に入学して本当に良かったです。

○ 新学期の前半を終えて ○

3E1 アリア

海外留学できることは、多くの学生の夢であると思います。私は福井高専に来る事でその夢が叶いました。

福井高専では勉強して早くも3ヶ月がたち、色々なことを勉強しました。もちろん一番必要なのは専門教科の勉強ですが、日本の習慣も少しづつ勉強しています。先生方は親切に教えてくださり、クラス

メイトも色々なことを手伝ってくれます。特にチューターの方には勉強や生活の面で助けてもらっています。女子留学生が私だけだから少し寂しいと感じる時がありました。しかし、寮に住んでいると徐々にその気持ちがなくなりました。なぜかと言うと、寮の生活は楽しいし、いっぱい友達もできたからです。今では友達と一緒に寮生活を楽しんでいます。

しかし、時々ホームシックになります。仕方がなきれど我慢しなければなりません。誰もが海外留学する機会が得られるわけではありません。私はその機会を得た事にとても感謝しています。国と家族のためにもっと頑張ろうと思います。これからもっと多くの日本の習慣を学び、みなさんと仲良くしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

○ 新学期の前半を終えて ○

1ES 松 本 勇 太

専攻科生として迎えた新学期の前半を終えて感じることは、専攻科生は本科生よりも自由な時間が多いということだ。自由な時間といっても、ただ遊んでいられるような時間が多いうわけではない。専攻科生は午後からは特別研究の時間になることが多く、日によっては所々授業が無かったり、午前中は丸々休みだったりすることがあり、本科生のように授業で縛られる時間が少ないということである。

授業が無ければ遊びたくなったり、ゆっくり休みたくなったりする。しかし、特別研究の時間は計画的に研究を進める必要がある。また、授業が無い時間には出された課題をやらなければならない。せっかくある時間を無駄にしている暇など無いのだ。とは言っても、研究や課題だけに追われるだけでは、息が詰まってしまう。たまには息抜きをするのも悪いことではないのではなかろうか。結局のところ大切なことは「やる時はやる」「休む時は休む」というオンとオフの切り替えなのだと思う。これから専攻科生生活、時間を上手に使って有意義なものにしたい。

新入生オリエンテーション

新入生オリエンテーション合宿研修

今年はスコアオリエンテーリングをしました —平成26年度新入生オリエンテーション—

学生主事 藤田克志

平成26年4月15、16日、奥越高原青少年自然の家にて新入生オリエンテーションを行いました。1年生205名、関係教職員が参加しました。16日の午後は丹南地区に戻り、地場産業体験をしました。関係教職員の皆様に感謝いたします。

また、今回は身体を積極的に動かし、自然体験をしようという意図で、15日の午後にスコアオリエンテーリングを入れました。天気に恵まれたこと、1年生諸君が積極的であったので、充実した時間を過ごしたのではないかと感じています。ハイキングという感じのコース、山あり谷ありの少し難しいコースもあって、ある種の達成感を感じてもらえたのではないかと思っています。

そして、今年も「服育」と「アルゴリズム体操」をしました。担任の先生方のご指導で、ケータイ持ち込み不可もかなり徹底されていたと思います。つまり、人の話を聞くときはしっかり聞き、そして自分の頭で考え、皆で楽しむときは楽しみ、身体を動かして気持ちを切り替える。これから約5年間、こんなふうな習慣で生活をしていってくれたらいいなと思います。また、1年生諸君がこれから約5年間で成長していく姿を見守っていきたいと思っています。

仲間・友達の重要性

F3 山川凌

私は出会って間もない仲間との初の校外活動であった合宿は、多少の不安はありながらも一気に沢山の友達を作る機会と考えた。私はこの機会を通じて、多くの仲間と会話することができた。

より多く会話できたのは、スコアオリエンテーリングと部屋での雑談の時だった。スコアオリエンテーリングでは、同じグループの仲間と進むルートを懸命に話し合って決めた。時には道が無かったり、急な階段を進んだが、このスコアオリエンテーリングで仲間と協力することの重要性を再発見できた。

夜の部屋の仲間との雑談では、普段の仲間の生活などの情報を共有した。私の新入生歓迎会でするネタも一緒に考えててくれた。真剣に話すことのできる相手を見つけておくことの重要性をこの雑談で再発見することができた。

このオリエンテーション合宿を通じて、私は仲間の大切さを改めて知ることができた。これから、仲間に助けてもらうためには自分も努力して、クラスの代表として皆を引っ張っていかなければならないことを感じ取ることができた。この経験を生かして、クラスも自分も最良になるように高専生活を頑張っていきたいと思う。

新入生オリエンテーションに参加して

F4 久野万由子

私は、クラスのみんなでオリエンテーションに参加できて本当に良かったと思います。

私はクラス代表になって、「クラスのみんなと仲良くしたい」という目標をもっていました。そのため、早くクラスのみんなと話したいと思っていました。オリエンテーションはみんなと話すいい機会となりました。バスの中で怖い話をしたり、いろいろな講習の間の休憩時間に周りの人と話したりして、少し打ち解けることができました。

また、友達のあらたな一面を知ることもできました。スコアオリエンテーリングのとき、みんなとても積極的で行動力があつて驚きました。もっと仲良くなれたら、もっといろんな面を知ることができると思うので、楽しみです。

高専に入学してから約2ヶ月以上が経ち、学校にもクラスにも少しずつ慣れてきました。テスト前に問題を教えあったり、体育祭があつたり、行事があるたびにクラスの雰囲気がまとまっていくように感じます。まだまだ色んな行事があるし、そのひとつがF4の仲を深めると思います。高専生になって最初の行事だった新入生オリエンテーションは、私にとって忘れられない思い出になりました。F4のみんなのおかげです。

第50回体育祭

第50回 体 育 祭

集団行動

体育祭担当 学生主事補 金 田 直 人

昨年度も体育祭を担当し、この青武台だよりで「このような行事に積極的に参加することで、自分自身を成長させることができ、人生の選択等に大きな影響を及ぼします。今年度積極的に参加しなかった学生は、来年度真剣に取り組んでみてはどうでしょうか?」と呼びかけました。今年度はどうだったでしょうか?年に一度の学校行事、積極参加できましたか?

さて、今年度の体育祭も天候に負け、予備日で実施することとなりました。しかしながら、運営側としては恵みの雨となり準備万端でのぞめました。その結果、近年では叶うことのなかった「時間通り」の体育祭を遂行することができました。時間通り物事を進めることはなかなか出来ないので、これもひとえに学生一人ひとりが運営に理解と協力をしてくれたからだと感じています。体育祭は、一人では実施することの出来ない集団行動だと思います。集団行動には、ある目標の下、規律ある行動が求められます。その行動力の高さを証明してくれた皆さんには、ぜひ今回の体育祭を一つの自信にしてほしいと思います。それだけ凄いことを成し遂げました。約1000人規模の集団行動を成功させるのは、滅多にないことで、今後はこの経験をいかして、まずは人として、そしてエンジニアとしての素養をさらに伸ばしていってほしいと願っています。

最後に、2月からの準備にはじまり当日に至るまで各色を束ねた団長・デコレ長、そして体育祭の運営に従事した体育長・体育委員、学生会、関係教職員のご協力に衷心より感謝申し上げます。

(来年度の体育祭は晴れますように!)

体育祭を終えて

3E 谷 口 尚 也

5月2日に第50回体育祭が行われました。雨で順延になったものの、当日は天候も回復し、体育祭に相応しい日となりました。

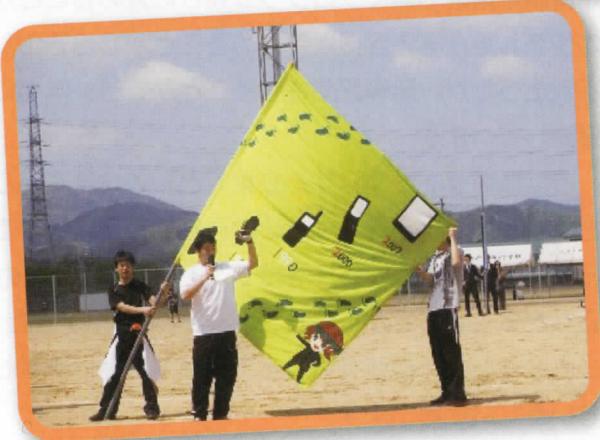
今回体育長をしたのは、「滅多にできない経験だから」という理由からでした。実際にやることが決まってからは、責任を持ってやり遂げるということを常に考えながら準備に取り組みました。前回の体育祭には選手として参加していたため、準備・運営については何もわからない状態でした。しかし、学生主事団の先生方や先輩達のサポートによってしっかりと予定をたてて準備に取りかかることができました。

準備期間中は実行委員を中心として何度も話し合いをしながら体育祭の方針、ルールを決めていきました。いろいろな人から意見をもらうことで改善点が見つかり、より良いものにできていったと思います。

当日、前日準備では体育委員や運動部員など多くの学生に手伝いをお願いしました。一人ひとりが役割をしっかりとしてくれたため、運営がスムーズに進みました。選手達もすばやく集合していて協力的だったようでした。このおかげで、今年の体育祭は遅延も無くプログラム通りに進めることができました。学生全員をまとめることができるのか不安だったが、無事成功させることができ、本当に感謝しています。

今回体育祭を「運営する立場」として経験することによって、いろいろなものを見方や考え方ができるようになります。責任を持つことの大変さがわかるなど多くのことが得られ、良い経験になりました。これからもこの経験を活かして様々なことに挑戦していきたいと思います。

第50回体育祭



第50回体育祭

第50回体育祭

体育祭の思い出

F5 高橋小春

私にとって、入学してから初めての大きな学校行事でした。私たちのクラスは環境都市工学科の先輩方と同じ色になり、私は応援団に参加しました。少し遅くからはじめた練習だったので、午前中のエールに参加することはできませんでしたが、先輩方は練習のときからきれいにそろっていてかっこよかったです。

はじめは1年が2人しかいなかつたので緊張したり不安だったけれど、どの学年の先輩も優しく応援やダンスの振りなどを教えて下さったので、本番もすごく楽しむことができました。中腰の練習や不安定になる砂利駐での練習はちょっときつかったけれど、とてもいい思い出になりました。

競技はいろいろなものがありましたが、私はリレーの応援が楽しかったです。応援団の人みんながトラックの外側に並んで自分の色のリレーの選手をとても応援していて、団結力のすごさを感じました。私が参加した競技は玉入れだけですが、女の子だけの競技で楽しかったです。真ん中で玉をぶつけられていた団長さんたちには、ほんとに申し訳なかったです。

体育祭のおかげで先輩方との交流も持て、これからさらに充実した高専生活を送りたいです。



第50回体育祭成績一覧

《各競技結果》

種目	順位	1位	2位	3位	4位	5位
応 援	赤	緑	青	黄	白	
エ ー ル	赤	白	黄	青・緑	—	
デ コ レ	白	赤	黄	緑	青	
競 技	赤	白	黄	青	緑	
総 合	赤	黄	白	青	緑	

《各学年順位》

		1位	2位	3位	4位	5位
学年別 総合成績	1年	青	白	黄	赤	緑
	2年	青	緑	白	赤	黄
	3年	青	赤	緑	黄	白
	4年	緑	赤	白	青	黄
	5年	赤	緑	青	黄	白



キャンパスウォーク

キャンパスウォーク 2014

教務主事 上島 晃智

5月10日（土）、今年のオープンキャンパス第1弾となる「福井高専キャンパスウォーク2014」を開催しました。

これは、5学科と共同施設等の見学を通じて本校を理解していただくことを目的にスタンプラリー形式で行われたもので、福井県内外の小中学生や保護者、中学校の先生などあわせて613名の方々に参加いただきました。

高専は、高等学校とは異なり、専門的・実践的な高等教育を行っています。また、他の学校では見られないような各種設備も充実しています。

当日は五月晴れの中、キャンバスマップを片手に校内を散策しながら、ポイント地点となっている5つの学科の研究室・実験室や学寮、また平成26年2月に改修工事が竣工した図書館と地域連携テクノセンター等、校内24か所を自由に見学いただき、在校生から興味深く説明を聞いたり、実験を体験す

るなどして一日だけの高専生活を十分にたのしんでいたようです。

また、学校説明会や在校生との交流コーナー、学食体験、部活動見学も同時に行われ、午後からは、初の試みとして小学生高学年と保護者の方にも施設を見学していただきました。

アンケートでは、「学生さんの説明が丁寧で分かりやすかった」「高専がどんな学校なのかを知ることができた」、「すごく為になった」、「入学したい」等の嬉しい感想を多くいただき、教職員一同感謝しております。

参加いただきました皆さんと、来春、このキャンパスで再びお会いできることを心から楽しみにしております。



地域連携テクノセンター：
走査型電子顕微鏡を操作する参加者

キャンパスウォーク2014 内容一覧

1. 創成教育ラボ2(機械工学科) 機械工学科の実験や卒業・特別研究を行う施設です。研究紹介パネルも展示しています。	13. エコラボ(環境都市工学科) ビオジオを覗こう！川や水路にはどんな生き物のくらしがあり、どのように守られているのかな？
2. 卒研アトリエ2(機械工学科) 不思議な科学実験や、機械工学に関連したものづくりを行うアトリエです。	14. デザインスタジオ(環境都市工学科) 仮想空間に都市をつくる演習を行っています。皆さんもVRソフトウェアを体験してみませんか？
3. 創造工学実験室(機械工学科) 自律型ロボットを製作し、ロボカップなどのコンテストを行います。	15. デザインアトリエ(環境都市工学科) 建築設計作品の映像やデザイン・創作アートの作品の展示を行っています。デザインに触れてみませんか？
4. 電気電子実験室4(電気電子工学科) 室内の壁が特殊な素材で作られていて、ほぼ100%の無音空間が再現できる場所です。	16. 分析計測室1(地域連携テクノセンター) 走査型電子顕微鏡を用いて材料の表面を最高100万倍に拡大して観察することができます。
5. 創成教育ラボ(電気電子工学科) 創成教育ラボは電気回路の実験からロボットの実験まで様々な学生実験をする場所です。	17. デジタル造形室(地域連携テクノセンター) 3Dプリンタ、3Dスキャナ、レーザーカッターなどを使ったものづくりをするための共同利用施設です。
6. 電気電子実験室1(電気電子工学科) 実験電源盤を備えており、様々な電気エネルギーを活用した実験をする場所です。	18. e-ラーニング室(創造教育開発センター) この部屋ではコンピュータを用いた英語学習やテレビ会議・講義することができます。
7. 電子工学実験室1(電子情報工学科) 電子情報関連の基礎実験やものづくりを行う実験室です。	19. 総合情報処理センター コンピュータや情報通信技術に関する学び、技術力と創造性を磨くための勉強をします。
8. 情報処理演習室(電子情報工学科) ネットワーク技術などの情報演習を行い、プログラミングコンテストの発信基地です。	20. 図書館 今年4月にリニューアルし、約11万冊の図書や雑誌等を収蔵しています。PCコーナーやメディアコーナーも利用できます。
9. 創成教育ラボ(電子情報工学科) 創造工学演習やIT研究会の活動場所です。プログラミングやロボット制御を行います。	21. 学寮 通学に便利な学寮！学寮見学を歓迎します。
10. 物質工学実験室2(物質工学科) 有機化学・生物化学関連の実験を行う施設です。	22. 機械実習工場 いろいろな工作機械を見学してください。環境に優しい加工技術にも取り組んでいます。
11. マルチメディア室(物質工学科) コンピュータを使った化学の世界を紹介します。	23. ドリームラボ ロボコン大賞はここから生まれた！ドリームラボはロボコン製作の秘密の場所です。
12. 生物工学実験室(物質工学科) 微生物や遺伝子組換えを取り扱うための実験室です。	24. 在学生との交流コーナー 在学生と楽しい時間を過ごしていかが？ご質問など、先輩がホンネで答えます。

第49回寮祭

第49回寮祭

青武寮という輪・和をつくる

寮務主事補 江 本 晃 美

今年も無事に寮祭を終えることができ、寮長、企画長をはじめとする寮生のみなさん、お疲れ様でした。前夜祭としての自家製焼き芋に始まり、逃走中にバザー、1時間ごとのステージ企画と本当に盛りだくさんな2日半でした。4月初旬よりスタッフを募り、新体制となってから最初の行事でしたが、スケジュール調整の難しい中、色々な工夫が凝らされており、初参加の1年生を中心にバザーでは炊き込みご飯に豚汁といった軽食から、スイーツやスナックまで、寮生の食事として活用してもらえる心遣いもみえました。また、留学生からは、祖国の紹介と合わせてスペインの利いた自國のお料理を振る舞って頂き、学生寮という多様な人間関係のある環境の醍醐味も味わうことができたのではないかでしょうか。

この寮祭を通じて、みなさんは普段の規律ある生活とは少し違った青武寮を体験します。同時に、寮生活を快適にするための役割や当番といった厳しさの上に、このように有意義でかけがえのない楽しみがつくりあげられることも感じてもらえたことと思います。集団生活の中から、自分を律し行動することで他者との関係や生活を成り立たせることの大切さを実感し、行事や日々の交流を通じて、青武寮という輪の一員となり寮生同士の和を築いていくことを期待します。



寮祭を終えて

寮祭実行委員長 4B 大 塚 慎 也

寮祭を自分が中心となって進めるということになって最初は不安しかありませんでした。先輩たちが築き上げてきた寮祭を自分なんかが中心になって本当に成功できるのかなどというネガティブな考えがどんどん溢れてきました。さらに寮祭の準備期間と体育祭とが日程がかぶっており、体育祭と並行しながら寮祭の準備を行わなければいけませんでした。しかし、それは毎年同じことで、先輩たちはその中で上手く時間を使って寮祭を成功させてきました。体育祭も4年生が中心となるイベントなので、その中でも上手くやってきた先輩たちは尊敬するなど同じ立場になって改めて感じました。

そういう多くの不安がありました。自分には寮祭を成功させたいという同じ志を持った仲間が自分を含め33人も集まりました。この人数は例年よりもかなりの人数で、リーダーとして頼りない自分にとって大きな希望となりました。

寮祭の準備は想像を絶する大変さがありました。しかし、その中でもがんばっていけたのは、企画員のみんなが精一杯のサポートしてくれたおかげでした。自分は時間の使い方が下手くそであったけれど、人数の多さでそこはカバーできました。これはメンバーのだれが欠けても成しえなかつたことだと思います。

寮祭本番の日は舞鶴高専との交歓試合日程がかぶっており、企画員も参加者も少なくなってしまうということが今年も起きてしましたけれど、全ての企画が大きな問題も起きず、順調に行うことができました。

こうして第49回寮祭は成功を収めることができました。寮祭を終えて自分はやってよかったと思うことができました。この先、後輩たちもこの気持ちを感じられるように頑張ってほしいと思います。



活躍する仲間

平成26年度 舞鶴高専交歓試合結果

平成26年5月17日(土) 実施

[舞鶴高専会場]

◎剣道

福井高専 2 ————— 0 舞鶴高専

◎バドミントン(男子)

団体の部 福井高専 2 ————— 1 舞鶴高専

◎バドミントン(女子)

団体の部 福井高専 2 ————— 1 舞鶴高専

◎サッカー

福井高専 1 [0 — 1] 1 舞鶴高専

福井高専 0 [0 — 0] 1 舞鶴高専

[福井高専会場]

◎バレー(女子)

福井高専 6 [25 — 12
25 — 3
25 — 7
25 — 14
25 — 3
25 — 1] 0 舞鶴高専

[福井高専会場]

◎バスケットボール(男子)

福井高専 50 [16 — 22
16 — 15
4 — 18
14 — 12] 67 舞鶴高専

◎バスケットボール(女子)

福井高専 59 [16 — 14
14 — 22
12 — 20
17 — 19] 75 舞鶴高専

◎ソフトテニス

福井高専A 3 [4 — 3
4 — 2
4 — 1] 0 舞鶴高専A福井高専B 0 [0 — 4
2 — 4
3 — 4] 3 舞鶴高専B

◎柔道

第1試合 福井高専 1勝3敗1分 舞鶴高専
第2試合 福井高専 6勝1敗2分 舞鶴高専

平成26年度 福井県高等学校春季総合体育大会結果

中心会期 平成26年6月6日(金)・7日(土)・8日(日)

<<団体の部>>

◎卓球(男子)

1回戦 福井高専 3 ————— 2 科学技術高校
2回戦 福井高専 0 ————— 3 福井商業高校

◎卓球(女子)

1回戦 福井高専 3 ————— 0 三国高校
2回戦 福井高専 2 ————— 3 啓新高校

◎テニス(男子)

1回戦 福井高専 2 ————— 1 足羽高校
2回戦 福井高専 0 ————— 3 敦賀気比高校

◎剣道

1回戦 福井高専 3 ————— 2 金津高校
2回戦 福井高専 2 ————— 3 啓新高校

◎ソフトテニス(男子)

1回戦 福井高専 0 ————— 3 丹生高校

◎バレー(男子)

予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 大野高校
予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 春江工・坂井高校

◎バレー(女子)

予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 若狭高校
予選リーグ 福井高専 0 ————— 2 若狭東高校

◎バスケットボール(男子)

1回戦 福井高専 62 [13 — 12
14 — 16
9 — 14
20 — 14
6 — 14] 70 丸岡高校

◎ハンドボール

予選リーグ 福井高専 14 ————— 42 福井商業高校
予選リーグ 福井高専 21 ————— 21 藤島高校

活躍する仲間

<<個人の部>>

◎卓球（男子）

シングルス	山下 翔 (3E)	6回戦敗退（ベスト16）
	長谷川 諒 (2E)	4回戦敗退
	成田 匠希 (2E)	4回戦敗退
	有田 翔 (2C)	2回戦敗退
ダブルス	山下 翔 (3E)・有田 翔 (2C)	3回戦敗退
	片矢 理人 (F1)・武村 航平 (F5)	2回戦敗退
	成田 匠希 (2E)・長谷川 諒 (2E)	1回戦敗退

◎卓球（女子）

シングルス	鈴木 優 (2C)	準々決勝敗退（ベスト8） 北信越大会出場
	北川真由子 (3M)	2回戦敗退
	藤田 瑞姫 (3B)	1回戦敗退
	田中 碧 (3C)	1回戦敗退
	護城 歩 (F2)	1回戦敗退
ダブルス	藤田 瑞姫 (3B)・鈴木 優 (2C)	1回戦敗退
	黒河雅菜代 (F2)・護城 歩 (F2)	1回戦敗退

◎テニス（男子）

シングルス	森田 裕貴 (3C)	3回戦敗退
	山崎 一真 (2M)	3回戦敗退
	三池 寧弥 (F3)	3回戦敗退
	山岡 大輝 (F5)	2回戦敗退
	田中 一輝 (F2)	1回戦敗退
ダブルス	森田 裕貴 (3C)・山崎 一真 (2M)	(ベスト8)
	竜田 晃樹 (3B)・山岡 大輝 (F5)	3回戦敗退
	田中 一輝 (F2)・三池 寧弥 (F3)	3回戦敗退
	熊木 優人 (2B)・勝森 和真 (2B)	2回戦敗退
	松山 悠斗 (F3)・三田村海人 (F1)	1回戦敗退

◎ソフトテニス（男子）

酒井翔太郎 (F2)	松崎 将太 (F1)	1回戦敗退
新井 渉平 (F1)	兼子 翔成 (F5)	1回戦敗退
松崎 宙 (F2)	黒澤 悠太 (F1)	1回戦敗退

◎剣道（男子）

緩詰 正成 (2B)	4回戦敗退
青山 知樹 (3M)	2回戦敗退
伊藤 多聞 (3M)	2回戦敗退
朝倉 大賀 (2EI)	2回戦敗退
池田 朋生 (F2)	2回戦敗退
岸下 健太 (3E)	2回戦敗退
橋本 貴幸 (F4)	1回戦敗退

◎剣道（女子）

早瀬 夏貴 (2EI)	1回戦敗退
-------------	-------

◎水泳（男子）

50m自由形	斎藤 圭吾 (3C)	6位（北信越大会出場）
200m自由形	立壁 凉虎 (F2)	5位（北信越大会出場）
400m自由形	立壁 凉虎 (F2)	4位（北信越大会出場）
100mバタフライ	又農 智史 (2E)	3位（北信越大会出場）

◎水泳（女子）

50m自由形	宮本 紗樹 (3B)	8位（北信越大会出場）
50m自由形	八田 朱里 (2C)	7位（北信越大会出場）
100m自由形	宮本 紗樹 (3B)	9位（北信越大会出場）
100m自由形	八田 朱里 (2C)	7位（北信越大会出場）
200m個人メドレー	須藤はるか (2C)	2位（北信越大会出場）
400m個人メドレー	須藤はるか (2C)	1位（北信越大会出場）

平成26年度 北信越高等学校体育大会結果

平成26年6月7日(土) 実施

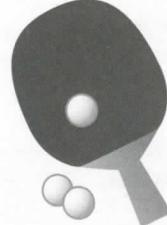
◎軟式野球

1回戦 福井高専 0 ————— 7 新潟商業

平成26年6月20日(金)・21日(土)・22日(日) 実施

◎卓球（女子）

シングルス 鈴木 優 (2C) 準決勝敗退（ベスト4）



活躍する仲間

平成26年度 北陸地区高等専門学校体育大会結果

平成26年6月28日(土)・7月5日(土)・6日(日) 実施

<<団体の部>>

◎男子競技総合成績	2位
◎女子競技総合成績	2位
◎総合得点成績	3位
◎陸上（男子）総合成績	4位
◎バレー ボール（男子）	2位 優秀選手 野中 貴広 (4B)
◎バレー ボール（女子）	2位 優秀選手 井川 南海 (5C)
◎バスケットボール（男子）	4位
◎バスケットボール（女子）	3位
◎ソフトテニス（男子）団体	3位
◎ソフトテニス（女子）団体	優勝（全国出場なし）
◎テニス（男子）団体	3位

◎野球	優勝（全国高専体育大会出場）
◎卓球（男子）団体	優秀選手 村上 凌 (5B) 2位
◎卓球（女子）団体	優勝（全国出場なし）
◎バドミントン（男子）団体	3位
◎バドミントン（女子）団体	2位
◎水泳（男子）総合成績	3位
◎水泳（女子）総合成績	優勝
◎剣道（男子）団体	3位
◎剣道（女子）団体	優勝（全国出場なし）
◎柔道（男子）団体	4位
◎ハンドボール	4位
◎サッカー	1位（北信越大会準優勝： 全国高専体育大会出場） 優秀選手 村井 優介 (5M) 中村 泉生 (3B)

<<個人の部>>

◎陸上（男子）
5000m 曰向 航 (2E) 2位
走高跳 斎藤 真輝 (F4) 3位

◎ソフトテニス（男子）
ダブルス 谷川 和樹 (5C)・桂田 康平 (4C) 2位 (全国高専体育大会出場)

◎テニス（男子）
シングルス 森田 裕貴 (3C) 2位
ダブルス 森田 裕貴 (3C)・山崎 一真 (2M) 3位

◎卓球（男子）
シングルス 山下 翔 (3E) 3位
ダブルス 井向 曰向 (5B)・井関 泰士 (4E) 3位

◎卓球（女子）
シングルス 鈴木 優 (2C) 優勝（全国高専体育大会出場）
藤田 瑞姫 (3B) 3位

ダブルス 藤田 瑞姫 (3B)・鈴木 優 (2C) 優勝 (全国高専体育大会出場)
--

◎バドミントン（女子）
ダブルス 木瀬 貴絵 (2E)・山本 希 (2C) 3位

◎水泳（男子）

400mメドレーリレー	立壁 涼虎 (F2)	奥山 瑠星 (F3)
又農 智史 (2E)	斎藤 圭吾 (3C)	3位
400m自由形	立壁 涼虎 (F2)	優勝（全国高専体育大会出場）
800m自由形	立壁 涼虎 (F2)	優勝（全国高専体育大会出場）
100mバタフライ	又農 智史 (2E)	3位
200mバタフライ	又農 智史 (2E)	3位
200m平泳ぎ	奥山 瑠星 (F3)	3位
200m背泳ぎ	岩壁 駿 (3M)	3位

◎水泳（女子）

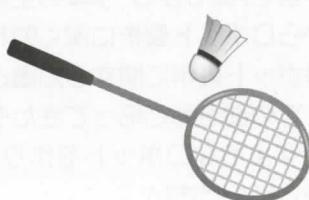
50mバタフライ	須藤はるか (2C)	2位
宮本 紗樹 (3B)	3位	
50m背泳ぎ	八田 朱里 (2C)	3位
100m自由形	八田 朱里 (2C)	優勝（全国高専体育大会出場）
小林 植 (F2)	3位	
100m平泳ぎ	須藤はるか (2C)	2位
200mリレー	寺川 礼菜 (5B)	宮本 紗樹 (3B)
須藤はるか (2C)	八田 朱里 (2C)	3位

◎剣道（女子）

早瀬 夏貴 (2E)	優勝（全国高専体育大会出場）
------------	----------------

◎柔道（女子）

63kg級	稻葉 棕子 (F2)	判定による (全国高専体育大会出場)
-------	------------	-----------------------



活躍する仲間

優勝！第3回小水力発電アイディアコンテスト

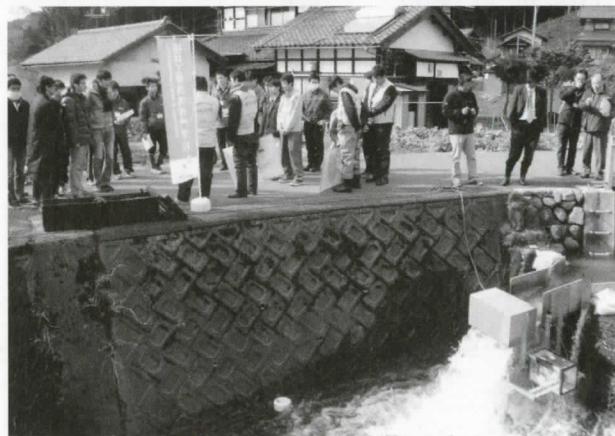
3月23日（日）、鯖江市河和田町で、第3回小水力発電アイディアコンテストが開催され、福井高専は、昨年に引き続き優勝しました。また、10部門のうち出力賞、効率賞、技術大賞及び地域貢献賞の4賞も同時に受賞しました。

このコンテストは、東海北陸の各県の自治体とデ

ンソーセンター（自動車部品製造）、東海北陸地区の各高専教員等で組織する実行委員会が中心となり、地域の資源を活用した小水力発電のアイディアを提案し、地域の課題を解決する力を培う機会とする目的に2年前から実施し、今回が3回目で東海北陸地区的7高専が参加しました。



松田校長に報告したメンバーと指導教員



見学する地元住民へ説明するメンバー

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014出場チーム紹介

競技名：『出前迅速』

ロボット名	代表学生	クラス	指導教員
越前ロボ根	堀口 日向	2EI	亀山建太郎

2EI 堀 口 日 向

みなさん、こんにちは。このたび、私たちのチームが高専ロボコンに出場することになりました。チームメンバーは全員ロボット部に所属していて、そして全員2年生です。もう一つのロボコン出場チームは、われらがロボット部の先輩方です。大会では下剋上を狙います（笑）。現在ロボットをバリバリ開発中です。平日は、授業が終わってすぐに部室に集まり、19時までひたすら作業に没頭しています。家に帰っても、ロボットのことが頭から離れず、設計図を描いたり、プログラムをいじったり……。目標は全国大会出場！頑張ります！

ロボット名	代表学生	クラス	指導教員
soba江ちゃん	橋本 知明	4M	千徳 英介

4M 橋 本 知 明

第27回を迎える今年のロボコンのテーマは「出前迅速」です。ロボットを用いてそばをゴールまで運ぶ競技です。

私たちのチームは福井の名物であるおろしそばをモチーフにしたロボット「soba江ちゃん」を製作して大会に出場を目指します。

近年の福井高専はロボコンにて良い成績を上げることができていません。しかし、今年の主要メンバーは低学年の頃からロボット製作に深く関わっていたものが多く、ロボット製作に関する知識と経験が豊富です。これまでの部活動で培ってきたものを活かし、会場を沸かすようなロボットを作りますので、良い成績を期待してください。

活躍する仲間

全国高専デザインコンペティション2014 in 熊本 始動!!

環境都市工学科 江 本 晃 美

今年も全国デザコンの本選大会（2014年11月8日・9日 熊本県八代市にて開催）に向けて本格的に学内予選会を行っています。今年のメインテーマ「よりそう」には、人に、或いは人と人との、地域に寄り添うという意味が込められており、空間、環境、構造といった部門ごとにそれぞれ作品やワークショップの企画を創意工夫し競い合います。今年度は、3年生から専攻科生まで9チーム30名ほどが学年学科を跨いで作品制作に取り組んでいます。また、同時に3次元造形コンテストが1部門として開催され、これまで以上に多彩な作品が一同に会するデザイン競技会となっていました。特に空間、環境の両部門は学内予選だけでなく、本選大会に出場す

るための1次審査の締切が9月初旬に迫っており、放課後等を利用して各チームとも切磋琢磨し、ご当地ゆるキャラ、くまもんの故郷「火の国 くまもと」での熱いコンペに向けて活動中です。応援よろしくお願いします。



第38回文部科学大臣杯 全国高等学校囲碁選手権大会 福井県大会 平成26年度福井県高等学校将棋選手権大会

囲碁・将棋W優勝!

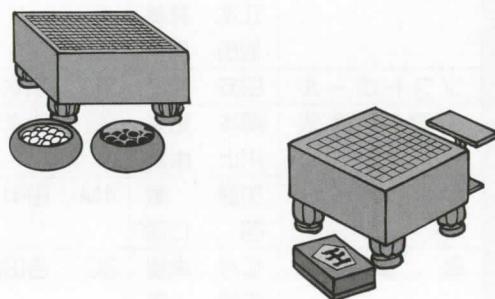
3B 三 村 優 太

県高校将棋選手権大会は5月24日に、福井新聞社で開かれた。男子団体は福井高専（3C 中山玲司、2E 小田樹也、F1 奥田真史）が初の頂点に立った。実力者3人をそろえた福井高専は、同大会7連覇中の藤島を破るなど全勝で全国切符を手にした。全国大会は7月27、28の両日に茨城県で開かれる。入賞目指して頑張っています！

第38回文部科学大臣杯全国囲碁選手権県大会が5月25日、福井棋院で開かれた。個人A級は3B三村優太が2連覇した。7月に東京、茨城で開かれる全国大会に出場する。予選大会で、対局中はお互い厳しい表情だった。しかしその後の交流戦では他

校のたくさんの生徒達と囲碁を楽しんだ。全国ではベスト8を目指して頑張ります！

最後に、今大会の参加に支援してくださった皆様、指導してくださった皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



学園通信

平成26年度 部・同好会指導教員・代表者一覧

部門	部・同好会	指導教員	代表者クラス氏名
体育部門	陸 上	東 章弘 山田 哲也 蘆田 昇	3E 川内 友貴
	卓 球	山本 幸男 西城 理志	5B 井向 日向
	男子バスケットボール	米田 知晃 阿部 孝弘 藤田 卓郎	4B 坪川 貴太
	女子バスケットボール	江本 晃美 荻野 繁春	5M 辻 明菜
	ラグビー	吉田 雅穂	4B 山本 悠哉
	サッカー	長水 壽寛 佐々 和洋	5E 森本 航
	野 球	奥村 充司 辻野 和彦 加藤 清考 青木 宏樹	5B 村上 凌
	男子バレーボール	村田 知也 川上 由紀	4B 野中 貴広
	女子バレーボール	山本 裕之 金田 直人	5C 井川 南海
	バドミントン	斉藤 徹 西野 純一 上島 晃智	4EI 古和 泰志
	テニス	島田 茂 吉田 三郎	3B 竜田 晃樹
	ソフトテニス	森 芳周 下條 雅史 小松 貴大	4C 桂田 康平
	柔 道	相場 大佑 手嶋 泰伸	3M 垣谷 悠介
	剣 道	中谷 実伸 丸山 晃生 手嶋 泰伸	5EI 森長 剛志
	ハンドボール	川村 敏之 芳賀 正和	3B 船木 啓太
	空 手	村中 貴幸 辻子 裕二 江本 晃美 池田 昌弘	4E 北野遼太郎
	ソフトボール	田安 正茂	3B 関本 大晟
	少 林 寺 拳 法	岡本 拓夫 川上 由紀	5E 山本 鳩
	水 泳	加藤 敏 西 仁司	4M 田中 浩貴
	合 気 道	松井 栄樹 佐藤 匠	3C 吉田辰太朗
	軟 式 野 球	田安 正茂	2B 村上 泰晟

部門	部・同好会	指導教員	代表者クラス氏名
文化部門	英 語	吉田 三郎 原口 治	3C 嶋田 七海
	モダンミュージック	森 貞	4E 道本 健央
	吹 奏 楽	荒川 正和 岡本 拓夫 森 貞	4E 福嶋 宏之
	エレクトロメーリング	佐藤 匠	3E 牧田 幸大
	囲 碁 ・ 将 棋	原口 治 山田 哲也	3B 三村 優太
	口 ボ ッ ト	亀山建太郎 千徳 英介 村田 知也	4M 橋本 知明
	天 文	岡本 拓夫	5C 松村 岳
	茶 道	平井 恵子	4C 上村 葉月
	ソーラーカー	竹本 泰敏 小松 貴大 米田 知晃 香月 壮亮	4E 吉村 淳也
	IT研究会プロフオ	西 仁司 斉藤 徹	3EI 曰下 翼
	日本現代視覚文化	岡本 拓夫	3E 前田沙斗子
	M.M.M.研究会	長水 壽寛 坪川 武弘 中谷 実伸	2EI 野村 弘樹
	V·I·P	高山 勝己	4E 松浦すみれ
	デザイン研究会	江本 晃美 辻野 和彦	5B 森 淳之介
	サイエンスクラブ	加藤 清考 池田 昌弘	4C 坂下 郁子
	航 空 研 究 会	高久 有一	5EI 小林 貴人
	フットサル	坪川 武弘 香月 壮亮	3B 土本 嘉惟
	放送・メディア研究会	西 仁司 中村 吉秀 長水 壽寛	3C 松島 雛子
	自 転 車	後反 克典	3C 松葉 悠真
	ダ ン ス	宮本 友紀	3B 釜井 劍
	T H E 研究会	吉田 雅穂 丸山 晃生 竹本 泰敏 藤田 克志 田安 正茂	5B 橋本 涼
	コマ撮り動画研究会	小松 貴大	3EI 山田 凉太
	美 術 同 好 会	山本 裕之	3EI 田中 董

学園通信

学生会活動について

少しの手助けを…

学生会長 4EI 前田倫也

はじめまして。今年度学生会長を務めています、4年電子情報工学科の前田倫也です。前年度も務めさせてもらっていたので、はじめましてではないかもしれません。今年度も前年度同様に学生会活動を作文で…ということなので、亂文ではございますが活動内容というより、目標に近くになりますがお知らせします。

今年度は高専祭が50回目など、節目となる年になります。なので、個々の行事をこれまで以上にみなさん楽しんでもらえるよう、また、思い出として残るようなものにしたといと思っています。行事以外でも学生のみなさんの学校生活が充実出来るよう、学生会がサポートを行っていこうと思います。

以上で簡単ではございますが活動内容の報告を終わります。最後に今年度一年間よろしくお願いします。

平成26年度学生会役員

学生会長	前田 倫也 (4EI)
副学生会長	告吉 悠 (4EI) 今中 就紀 (3C)
書記	椎林 風花 (4EI) 藤本 幹也 (3M)
会計	廣島 健亮 (4EI) 中田 棕介 (3M)
庶務	塚谷真梨奈 (4C)
高専祭実行委員長	宮谷 志保 (4C)
体育長	谷口 尚也 (3E)
文化長	田中 碧 (3C)
厚生長	榎波 将司 (3EI)
広報長	加藤 黛花 (4B) 吉村 紗愛 (3B)
涉外	副学生会長が兼務
議長	高橋 郁也 (5M)
副議長	横町 伝 (5E)
監査	千葉 大輝 (4EI) 出口 風人 (4EI) 前田 祐太 (4EI)

アドバンストコース「産業事情海外視察」報告

紳士の国をたずねて

今年3月に、長岡技術科学大学と高専の協働事業「戦略的技術者育成アドバンストコース」の一員として、イギリスへの産業事情海外視察に参加させていただきました。DENSO UK、Sharp Laboratory of Europeなどの企業や、York大学、Oxford大学への訪問、市内視察を主だった活動として行いました。

実際に海外で活躍している日本人の方々や、各分野で一流の教授方と直接お会いでき、その考え方などに触れる事のできた、非常に貴重な機会でした。

企業訪問においては、国際的なコミュニケーションに対するお話が、特に印象に残っています。日本人、英国人としてではなく、違う背景を持つ個人として、相手と接するべきである事。論理的な意見を持つべきである事。また、英語はコミュニケーションの道具に過ぎず、英会話力は必ずしも重要でない事。国際的なコミュニケーションと言えど、その根本は日本人同士のコミュニケーションと同様である、という事を学ばせて頂きました。

また、Oxford大学、York大学の教授方と実際に

5C 高棹玄徳

お会いして感銘を受けた事は、その人柄の良さでした。そして、こちらのたどたどしい英語から、意図をしっかりと汲み取って下さいました。これが、引率して下さった先生の言われた「ホモサピエンス最強」である所以、一流である所以の一つなのだろう、という感想を抱きました。

言葉にし難い想いも多いのですが、とにかく、素晴らしい機会がありました。3年生の皆さんには、是非ともアドバンストコースに参加して頂き、この貴重な機会を逃さないようにして欲しいと思います。

余談ですが、イギリスの食事は「不味い」というよりは、「飽きる」という方が正しいように感じました。



学園通信

明石高専教員を経験して



人事交流で明石高専へ

一般科目教室（人文系）

森 芳 周

昨年度、高専間人事交流という制度を利用して明石高専で仕事をしていました。全国の国立高専は10数年前に「独立行政法人国立高等専門学校機構」という一つの組織にまとめられ、数年前からこの組織の中で、つまり国立高専間で人事交流が行われています。学生のみなさんは他の高専とは同じ組織という感覚はありませんが、教員にとっては他の高専は同じ組織の仲間であるとともに、ライバルでもあるというイメージです。

ただ、教員も他の高専をよく知っているかというと必ずしもそうではありません。高専によってカリ

キュラムや学則などはかなり異なっています。明石高専は制服がなく、1年生から私服です。それから何と〈倫理〉という科目がカリキュラムに存在していません。そこで私が担当した科目は、2年生の世界史と政治経済、5年生の哲学です。

学生は、どの授業でもとても静かで熱心に授業を聞いている様子で、楽しく授業ができました。授業以外でも、放課後の「ぼうさい＆ボランティアトークカフェ」や夏休み中の「宿題しょーかプロジェクト」などの防災・地域貢献活動に積極的に参加する低学年の学生を多くみかけ、意識の高さに驚かされました。福井高専に帰ってきて少し記憶も薄れていますが、授業中に時間があれば明石高専の様子をみなさん伝えたいと思います。

本校に着任して



本校に着任して

一般科目教室（自然系）

相 場 大 佑

初めまして。この4月から本校の一般科目教室、数学の教員として勤務しております相場と申します。私は出身が栃木県で、高校卒業までは栃木で過ごしていました。(栃木県がどこにあるかみなさんご存知でしょうか)

そして、高校を卒業した後、今年の3月までは東京で暮らしていましたので、ずっと関東で暮らしていたことになります。関東から外へ出て生活したことがありませんでしたし、これまでに研究集会などで訪れる機会もなかったので、4月に本校に着任するまでは福井県どころか、北陸地方に来たことが

ありませんでした。

本校に着任して、早くも3ヶ月が過ぎようとしているところですが、採用が決まって、実際に勤務をするまでは、見知らぬ土地で、誰も知り合いがないところで、果たしてうまく生活していくだろうかと不安で仕方ありませんでした。徐々にではありますが、周りの教職員の方、学生の皆さんに助けられ、福井高専での生活に慣れてきたのではないかと思っています。

私も、新しく入学した学生の皆さんと同じく、新1年生ということになり、あまり大したこととは言えませんが、新1年生の学生の皆さんに限らず、上級生の皆さんも、勉学、部活動等、様々なことに挑戦して、この福井高専で有意義な時間を過ごして欲しいと思います。宜しくお願ひ致します。



本校に着任して

一般科目教室（人文系）

藤田 順郎

4月から一般科目教室に英語教員として着任しました、藤田順郎です。実は以前、福井高専に非常勤講師としてお世話になっていました。当時担当させていただいた学生が専攻科に所属していることを知り、時が経つのは早いなと感じました。

福井高専に着任する前は、公立中学校や高等学校、特別支援学校に勤務していました。これまでの勤務先での経験と比べて、福井高専では様々なことが学生の自主性に任されていると感じます。そして多くの学生が、その自主性に応えている場面に何度も遭遇しており感心しています。また、礼儀正しい言葉遣いや、爽やかな挨拶ができる学生が非常に多いということも、着任してすぐに感じました。

自主性に任されている部分が大きいのは、学生だけではなく教員も同じだと考えています。自分自身を鍛えるために、日々の英語の鍛錬や研究を着実に進めようと思います。また、私の専門は外国語教育研究ですので、授業実践と研究をうまく関連させるように努めたいと思います。

部活動は、男子バスケットボール部の顧問の一員に加えていただきました。バスケットは中学校、高等学校の部活動以来で楽しみです。

1日でも早く福井高専での生活に慣れて、自分ができる精一杯のことを謙虚に行っていこうと思いまます。これからよろしくお願ひします。



本校に着任して

電気電子工学科

西城 理志

電気電子工学科に新たに着任いたしました、西城です。福井工業高等専門学校の皆様、改めましてよろしくお願い致します。今回は「福井高専に着任して」という内容で、紙面を頂きました。私は普通の高校を卒業し、センター試験を経て大学に進学したため、高専に通ったことはないのですが、博士課程に至るまで専門教育を受けた経験を元に、思うことを書かせて頂こうかと思います。

普通の高校での3年間の勉強というのは、いわば今後の進路を選ぶまでの猶予期間であると同時に、勉強の仕方を学ぶ期間です。学ぶ内容は、将来的には役に立ったり、立たなかつたりします。しかし、高専に進んだ皆さんには、将来に直接役立つことを学べる環境です。普通の高校を経た場合と高専では、専門教育に入る期間が3年早まります。この差は専門分野を学ぶ上では、存外に大きなものではないかと私は思います。また高専の授業は非常に実験を含む実践的なものが多いです。これらは高専進学という形で自らの進路の方向性を決めた皆さんの、確かなアドバンテージですので、自信を持ってそれを活かして欲しいと思います。

専門教育を学ぶ学生であるものの、まだ若い皆さんとの関わり方に、大いに苦慮する日々ではあります、時間をかけて距離感を詰めていけたら良いなと思っております。

学園通信



本校に着任して

物質工学科

坂元知里

平成26年4月1日より本校 物質工学科 助教として着任致しました、坂元知里です。まずは自己紹介をさせていただきます。私は、北九州高専の出身です。北九州高専では、本科・専攻科の7年間物質化学工学科に在籍し、卒業研究として、有機ELに使用される蛍光物質の合成を行いました。その後、九州工業大学大学院に進学し、生体材料を用いたバイオデバイスシステムの構築を行い、2011年3月に学位を取得しました。大学院修了後、遺伝子解析を行うベンチャー企業へ就職し、営業、開発、企画を一手に担いました。結婚を機に福井大学へ転職し、研究資金の管理や外部資金獲得をサポートするURAという職を経て、現職に就いています。青春時代を過ごした高専へ、教員として戻ってこられたことは、大変幸せなことです。

本校に着任し一番感じる事は、人材力の高さです。福井高専の学生は、一見やんちゃなほど明るく見えますが、芯は真面目で努力家な人が多いように思います。また、高学年となるにつれ、着々と「社会に出ても即戦力となり得る人材」へと成長しており、学生の努力も然ることながら、それと同時に学生を支える教員や事務の方々の教育力にも感銘を受けています。

私も教育者・研究者として、成長するよう邁進していく所存です。皆様ご指導のほどよろしくお願ひ致します。



チャレンジ精神を忘れず

事務部

柴 正彦

この4月に就任しました柴と申します。3月まで

筑波大学に勤務していました。着任して3か月が過ぎ、7年ぶりの単身生活にもやっと慣れ、週末は、近隣の三六温泉でリフレッシュしています。

高専は、今年から第3期中期目標・中期計画に入り、高専教育の魅力を一層高めていく期間と位置づけられています。高専を取り巻く環境は、15歳人口の減少や運営費交付金の削減など厳しいものがありますが、チャレンジ精神を忘れずに、本校のために頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



オールシーズン、半袖です

総務課 課長補佐（財務）

竹内 富美明

「高専に来てよかったです。」というのが、現在の正直な気持ちです。

異動した当初は、初めての職場であり通勤も遠く、新しい環境や仕事に戸惑いや不安がありました。皆様のお蔭で慣れることができ、日々頑張って職務に当たっております。

私の趣味の一つは、「風」になることです。車体を気持ちよく左右にバンクさせながら、ワインディングを駆け抜けた時は、最高の気分です。

今後とも誠実さと謙虚さを旨とし職務に当たりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



自分が変わり、適応する

総務課 人事労務係

佐々木 忠文

生きていくための秘訣を言い得た言葉です。

福井高専は20年ぶり2回目の勤務となります。

昔と比べて変わったと思うことは、高専機構になったこと、学生課が管理棟にあること、Rikejo【リケジョ】学生が多いこと、低学年男子学生からの心地よい挨拶が多いことなどです。

私自身も変わらなきゃ！と思い、天気の良い日には、健康を意識して極力徒歩で通勤することにしました。車では見逃すような小さな発見を日々楽しんでいます。

これから、どうぞよろしくお願ひいたします。



着任にあたって

総務課 契約係

嶋津 美穂

はじめまして。7月から福井高専で勤務することになりました嶋津と申します。

着任して約1週間ですが、高専独自の組織や仕組み、契約という新しい業務を覚えることに終始し、毎日が瞬く間に過ぎていきます。

教員・学生との距離が近いと言われる新しい環境に、少しでも早く慣れ、人と人との出逢い、繋がりを大切に、「常に考える」姿勢（これは前職で学んだことです。）を持ちながら業務を行い、日々成長できるよう努力したいと思います。よろしくお願いします。



新鮮な毎日

学生課 教務係

藤田 瞳子

皆さま、はじめまして。

7月1日付けで、学生課教務係に参りました藤田と申します。

初めて正門に足を踏み入れた時は、『ここがこれから私の職場だ！』という思いで、思わず大きく深呼吸をしてしまいました。まだ、実質4日間の勤務ですが、校舎ですれ違う学生さんの元気な挨拶に喜びを感じ、また、先生や職員の方との出会いが、私を日々新鮮な気持ちにしてくれます。

今は、早く先生方のお名前を覚えて、福井高専に

必要とされる職員になれるよう、初心を忘れず努力していきたいと思っております。まだ慣れないことも多くご迷惑をおかけしますが、ご教示のほどよろしくお願い申し上げます。



25年ぶりの実家？

学生課 学生生活係

田中 昌宏

こんにちは。7月1日付けで学生課学生生活係勤務となりました田中です。

私は若かりし頃、高専で勤務させていただいていて、25年ぶりに高専勤務させていただくことになりました。長い旅から実家に戻ってきたような感覚で、当時、学生のために一緒に汗を流した若手教員も、今では教授になられたり役職がついていたりで長い年月を感じております。

様変わりした部分と懐かしい部分が同居している変な感覚ですが、教職員のみなさまと協力して、学生を支援していきたいと決意を新たにしているところです。



ワクワクドキドキです！

学生課 情報サービス係

松田 知子

7月1日付けで福井大学医学図書館から高専図書館に着任しました。サービス対象が大学生から高校生も含むようになると、どう変わるのかワクワクしています。同時に、JKやDK？の皆さんとお仕事をするという想定外の出来事にドキドキもしていますが、今までの経験も活かして、高専図書館ならではの利用者サービスを考えられたると狙っています。とはいえ、ここは専門外の仕事も多く、今はまだてんてこ舞いしています。皆さんと挨拶を交わすと元気が出るので気が向いたら返してくださいね。

公開講座実施一覧

平成26年度 公開講座実施一覧

開催日時	講座名	受講対象	定員
7/20(日) 10:00~16:00	やってみよう ソーラーカー手作り教室	小学生(保護者要同伴)	20組
7/26(土) 9:30~16:00	小さな大工さん講座 「建築デザイナーになろう!」	小学5~6年生、中学生	12人
7/26(土) 10:00~16:00	メカトロニクス基礎講座 ～ライントレースマシンを作ろう～	中学生	8人
7/26(土) 13:30~16:30	電子顕微鏡でミクロな世界を見てみよう	中学生	10人
7/27(日) 9:00~16:00	親子科学教室(科学は身近にあふれてる! さあ科学のとびらを開けましょう!)	小学3~6年生(保護者要同伴)	15組
7/27(日) 13:00~17:00	夏休みの自由研究講座 「ちからとかたち」	小学4~6年生	10人
8/3(日) 10:00~14:00	中学生のための作文講座	中学3年生	15人
8/3(日) 13:00~17:00	化学実験室(中学生上級編) 一化学合成により 磁性流体を作製し「スパイク現象」を体験しよう!	中学生	10人
8/9(土) 10:00~12:00	「あるく」一本を動かしてグラフを書こうー	小学4~6年生、中学生	20人
8/9(土) 10:00~16:00	電気の苦手な中学生、集まれ!!	中学生	10人
8/9(土) 13:00~17:00	化学実験室(小学生編) 一光ったり動いたりする「スライム」 や、カラフルな「人工いくら」・「スライム時計」を作りましょう	小学生(保護者要同伴)	20組
8/9(土) 13:00~16:00	洋画と洋楽で楽しく英語を学ぼう	中学2~3年生、高校1年生	20人
8/9(土) 10:00~15:00 8/10(日) 10:00~12:00	中学生のための社会科講座 -高専の入試問題で学ぼう-	中学3年生	30人
8/10(日) 13:00~17:00	化学実験室(中学生編) -ナノテクノロジーとソル・ゲル法を体験しよう	中学生	15人
8/10(日) 13:30~16:30	デジタルものづくり体験 ~コンピュータで ネームプレートを作ってみよう!~	小学4~6年生	6人
8/19(火) 13:00~17:00	オリジナル携帯ストラップ(キーホルダー)を作ろう	中学生	10人
8/20(水)、21(木) 各13:00~17:00	はじめてのマイクロコンピュータ ~「ピカクス」を使ってみよう~	中学生以上	6人
8/23(土) 13:00~17:00	機器分析体験ツアーアー (君も分析化学者になろう!)	中学生	10人
8/23(土)、24(日) 各13:00~17:00	Processingで簡単アプリ開発	小学4~6年生、中学生	10人
8/30(土) 13:00~15:00	オリジナル菜をつくろう2014	中学生	10人
9/27(土)、28(日) 各13:00~16:00	英検準2級合格をめざして	中学生以上 (英検3級取得者が望ましい)	20人
9/28(日)、10/5(日)、11/2(日) 各10:00~12:00	英検3級合格をめざして -受験対策講座-	中学生以上	20人
10/18(土) 10:00~12:00	中学生のための数学講座 -高専の入試問題で学ぼう-	中学3年生	20人
11/9(日) 13:00~16:30	親子で作るはじめてのオリジナル写真年賀状	小学生、中学生(保護者要同伴)	15組
11/29(土)、30(日) 各10:00~15:00	中学生のための理科講座2014 -高専の入試問題で学ぼう-	中学3年生	20人
12/13(土)、14(日) 各10:00~15:00	英文法基礎講座	中学3年生	20人

中学生の皆さんへ

中学校だより

地域の人材・施設等を活かした活動

越前市 武生第六中学校

本校は、越前市の南部に位置し、日野山をはじめ西南と三方山に囲まれ、南北には日野川が流れる自然豊かな田園地帯にある。生徒数207名、学級数10学級の中規模校で、明るく素直な生徒が多く、落ち着いて学校生活を送っている。

本校の30年以上続いている一人一鉢大菊作りでは、苗作りから摘芯、支柱立て、輪台付けなどを地域の菊名人ゲストティチャーの方々の支援や指導、PTAの方々の夏の水やりで協力を得ながら、地域や家庭との絆を深めている。毎年育てている苗は前年度の3年生が育てた菊を冬も管理をし、育てたもので、受けつぐ大切さも知らせている。例年は地区的駅などに咲いた菊を飾っていただき交流を図っているが、昨年度は嶺南・嶺北の交流事業で上中学校へも贈呈し、上中中学校のホームページにも寄贈した大菊が紹介されていて、心の通い合いを見るこ

とができた。

キャリア教育での職場体験、家庭科の授業や夏休みを利用した保育ボランティアは、地域にある保育園や高齢者の施設での触れ合い活動を通して、共生し合うことの大切さを学ぶことができている。

また、地域の方々の協力により赤ちゃん抱っこ体験を行い、命を大事にすることはもちろん、いじめなどをなくし、人を思いやる心を養うことができている。

地域にある保育園児と触れ合いながら、体験した生徒が保育園時代にお世話になった施設でもあるので、成長の姿を見ていたい機会にもなっている。

本年度も総合的な学習の時間を利用し、地域での体験やボランティア活動に積極的に取り組み、地域と共に歩む学校づくりを目指している。





舞鶴高専交歓試合(バスケット)



舞鶴高専交歓試合(テニス)



壮行会①



壮行会②



新入生オリエンテーション①



新入生オリエンテーション②

マーク 本校ロゴマーク

平成26年7月31日発行 ☆福井工業高等専門学校 ☆〒916-8507 鯖江市下司町 TEL 0778-62-1111